

## TARAMA AIRPORT

### ■空港の概況

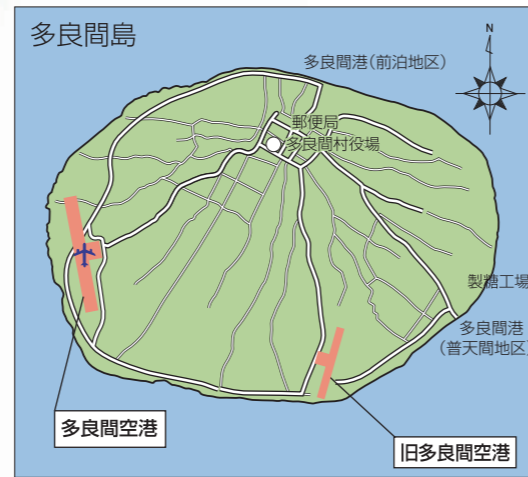
多良間空港は、昭和46年3月米国民政府援助資金により緊急着陸飛行場（主に救急患者の輸送）として建設され、同年12月から民間航空による運航が開始された。

昭和47年度から航空法に基づく拡張整備を行い、昭和49年7月滑走路800mで供用開始した。

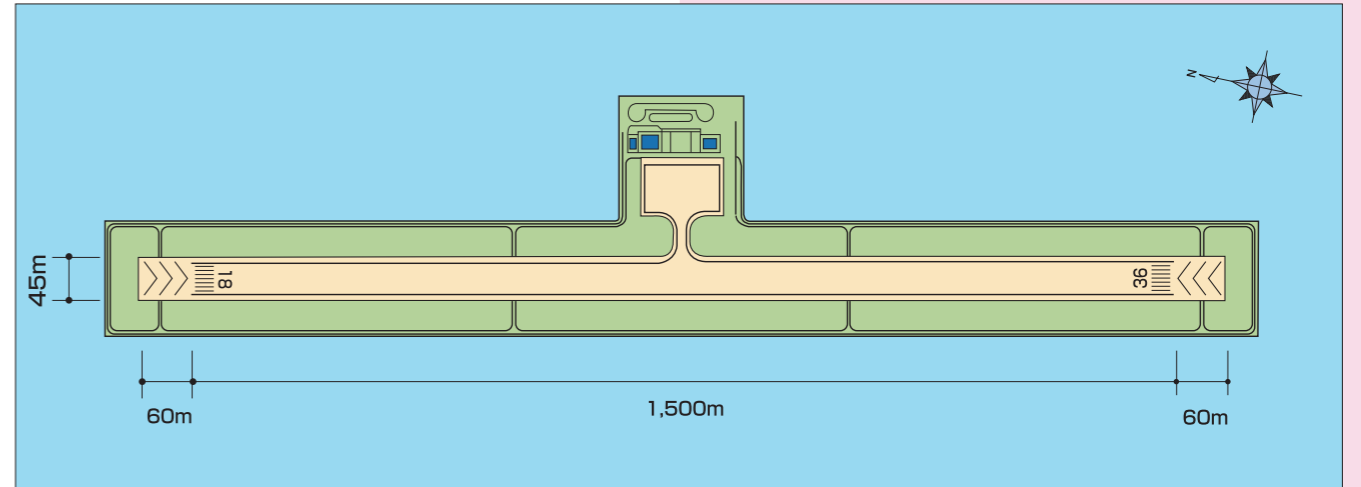
その後、航空需要の増大や機材の大型化に対応するため、プロペラ機が就航可能な滑走路長1500mを有する空港を島の西側に整備し、平成15年10月10日供用開始した。

令和6年1月22日から、石垣-多良間間に第一航空の不定期便が運航開始された。

### ■位置図



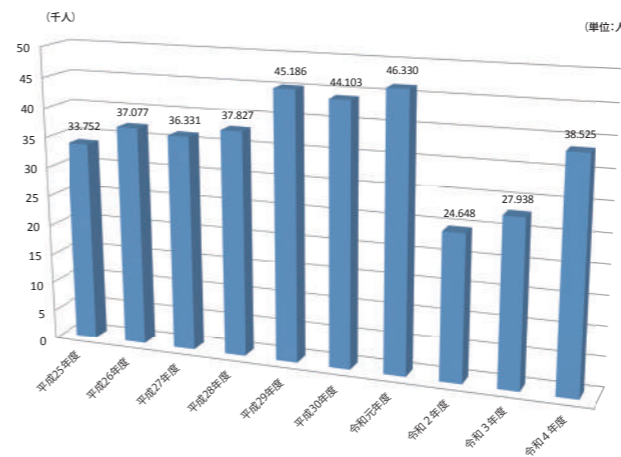
### ■平面図



▲ターミナルビル

### ■航空輸送実績

#### 旅客数の推移



#### 貨物量の推移



### ■沿革

- S.46. 3. 1 緊急着陸用飛行場として建設
- S.46.12. 2 民間航空機運航開始
- S.47.11.14 飛行場現況届告示 (R/W 780m)
- S.48. 1.25 多良間空港設置許可 (R/W 800m、設置者：沖縄県)
- S.48. 2.27 第三種空港に政令指定
- S.49. 7.26 供用開始 (R/W 800m)
- H.11.10.15 新多良間空港設置許可 (R/W 1,500m)
- H.11.10.29 第三種空港に政令指定
- H.15.10.10 多良間空港供用廃止
- H.15.10.10 新多良間空港供用開始 (R/W 1,500m)
- H.16. 7. 8 名称変更 (新多良間→多良間)
- H.20. 6.18 地方管理空港に政令指定 (法改正に伴う)
- R. 6. 1.22 不定期便運航開始

### ■空港諸元

項目	概要
種別	地方管理空港
設置管理者	沖縄県
所在地	宮古郡多良間村
標点位置	北緯24° 39' 14" 東経124° 40' 31"
標高	10.3m
空港面積	348,737㎡
着陸帯	1,620×150m D級
滑走路	1,500m×45m LA-4 N352° 46'44"E：真方位
誘導路	77.5m×18m
エプロン	7,700㎡ プロペラ機用 2バース
航空灯火	進入角指示灯、滑走路末端識別灯
航行援助施設	VOR/DME
駐車場	3,256㎡ 92台
Tビル面積	989㎡
運用時間	08:00~18:00 (10時間)

### ■路線別就航状況

(令和6年1月現在)

路線	航空会社	就航機種	日便数	所要時間
宮古	RAC	DHC-8	2	25分
石垣	第一航空	DHC-6-400	1(2/週)	30分

### 市町村概況

行政区	人口(人) (R3.1.1現在)	世帯数(世帯) (R3.1.1現在)	面積(km <sup>2</sup> ) (R3.10.1現在)
多良間村	1,130	520	22